—No.7—

われらサークル

岩室盆栽会

盆栽は芸術なり

「盆栽と話しているときが最高ですね。よく、じいちゃんまた一人ごと言っているなんて笑われますが、正直いって家内より愛しています」と目を細めて話す吉原二郎さん(岩室・69歳)。

盆栽を通して仲間づくりと心のふれあいを図れたら、と昭和五十年に結成の「岩室盆栽会」。現在、会員は十七人。老若男女(とは言っても女性はお一人)、ズブの素人から数十年のベテランさんまで、メンバーは多彩。

「芽摘み、枝ぬき、針金がけ」など、盆栽はなかなか根気のいる作業が多く大変。しかも年を通してのもの、それも限りない長丁場です。それだけに月一回の研究会を中心に、会員同士の知識・技術の交換は盛んです。

「知識・技術の交換といっても、正直なところ講師役の吉原さんを除いてはみんな素人?です。吉原さんのおかげで、ここまで会が続いてきたんでしょうね」と会長の佐藤巌さん。会員のみなさんも「技術は習うより盗め——とよく吉原さんから言われているんですが、会場を出るとすぐ得た知識を落としたり、置き忘れたりしている現状で、なかなか〝よく出来たね〟なんて褒め言葉にはありつけませんね」と一同笑いながら話す。

とにかく、この会は〝ネアカ〟というか、照れがない。「このように細い幹は、こうやって刺激してやると(棒などでこする)男性の○○○のように太くなってくるんですよ」と、きわどい表現がポンポン飛び出し、研究会は毎回、爆笑うずにわきかえります。でも、さすがにみなさん盆栽が根っから好きな人たち、和気あいあいの中にも緊張の糸がピーンと張ります。「技術は習うより盗め」の鉄則が会員に浸透しているせいか、大事な場面では雰囲気がガラッと変わります。

「盆栽には、この世に二つと同じものがないので、基本さえマスターすれば、自分の創造性でいくらでもすてきなものをつくれます。いわば自然を圧縮させる芸術家みたいなものですかねェ」と、なにごとも基本が大切と話す吉原さん。その目はさすがに鋭い。盆栽のぼの字も知らない編集子には、吉原さんの持つせん定バサミが次々に枝を落としていく姿に〝あ然〟としてしまったが、来春にはイメージどおりの芽がふき、きれいな枝ぶりの流れができるという。果たして、盆栽は芸術なり——と実感。

「将来は近隣の町村の愛好者と交流し、さらに知識、技術のアップができたらいいですね。それに、もう少し女性会員が入ってくれれば文句ないですね」と、とくかく明るく仲のいい岩室盆栽会のみなさんでした。

きわどいジョークがポンポン飛び出す、和気あいあいの岩室盆栽会のみなさん (11月17日・岩室公会堂で)

〔会員の声〕 吉原二郎さん

盆栽をいじっていると本当にあきがこなくて、楽しいですね。わたしにとっては〝生きがい〟そのものです。一鉢持ってきては手入れをし、また一鉢……と。盆栽も生きものですから、かわいがってやると向こうもそのように応えてくれます。だから基本を大切にしながら愛情をこめて育てています。根気よくつくるその中で、耐える心・優しい心も自然と身についてくる気がしますねェ。

さよなら

言葉の履歴書 ⑥⑦

別れのあいさつに使われる「さよなら」は「さようならば」からきた言葉です。「お元気で」や「ごきげんよう」などは意味がすぐわかるのに、「さよなら」は案外語源を知らずに使っている人が多いのではないでしょうか。

「さよう」は、漢字で書けば「左様」あるいは「然様」で、「そのような」という意味です。「左様しからば」は「左様」と応じて「しからば」と切り出す口上。「さようならば」を堅苦しく言った表現で、歌舞伎のせりふなどでよく耳にします。

「さようなら」つまり、そういうことならば……というあいさつには、現在自分たちが置かれている状況を認めた上で、それではいたしかたない、別れることにしましょう……といったあきらめのニュアンスが感じられます。

英語のグッド・バイ(神とともに……の意)、フランス語のオー・ルボワール(また会う日まで……の意)などとくらべると、「さよなら」はいかにも日本的な別れのあいさつといえるでしょう。

暮らしの健康

新・シリーズ(9)

文責／保健婦

この冬のかぜ対策

冬将軍の到来とともに増えてくるのが「かぜ」。くしゃみ、鼻水、鼻づまり、頭痛、発熱、のどの痛み、せきなど、かぜの症状はさまざまですが、かぜをひいたときの苦痛や不快感は、実にいやなものですね。

そんな思いや状態にならないためにも、ふだんから〝かぜ〟をひかない工夫をしておきましょう。

■偏食は禁物です

「生命は食にあり」のたとえのように、あなたの毎日の食事が病気をつくったり、あるいはウィルスの感染をしやすくしたりするもとになっている場合があります。とくに冬は、寒さのために体の新陳代謝機能が低下しがちです。強い体をつくるため、バランスのとれた食事をとるよう心がけましょう。

■睡眠は十分にとってね

気持ちのいい睡眠は、一日の疲れを解消するうえで、とても大切です。栄養・運動・睡眠の健康的な生活サイクルを守り、あなたの生活が一定のリズムになるよう心がけましょう。

もし〝なかなか寝れない〟などというときは、ふろに入って体を温めたり、軽い体操で眠りを誘うような方法を活用しましょう。

■からだを鍛えることがいちばん

寒さはともすると、わたしたちの体を縮めさせ、精神的にも身体的にも活動を小さくしがちです。縄とび、ジョギングなどで、積極的に体を鍛えましょう。

■汗をかいたらすぐ処理を

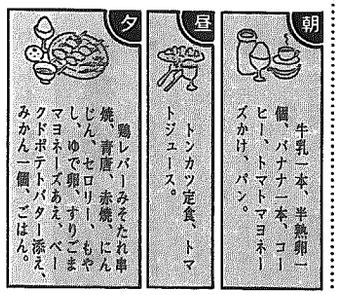
運動をしたあと、温かい部屋で汗をかいたりしたときは、すぐ汗をふき、下着も取り替えて体を冷やさないようにしましょう。

■厚着は大敵です

衣服の厚着は、冬のわたしたちの行動をさらに鈍らせ、体の活動の妨げになります。また不必要な発汗作用にもなり、かえって、かぜを誘発する要因にもなります。清潔で汗をよく吸いとる下着を着て、重ね着という厚着をやめ活動的な行動ができる服装にしましょう。

このほかにも、外から帰ったらまずウガイと手洗いをすることで、かぜの第一予防ができます。この中で、まず手軽にできるものから実行してみてください。

寒さに負けない献立例



(今月は62年10月21日から11月20日までに届出を済まされたものです。)

おめでたおくやみ

うぶごえ (出生)

住所	保護者	誕生月日	あかちゃん
和12	徹	10.13	川上 優也
和12	記代志	10.13	本田 祐恭
和8	茂夫	10.14	知野 潤兵
富岡	修	10.15	和田 亜樹
和11	浩治	10.16	小柳 矢雅
和9	敏	10.18	野神 史彩
栄	儀仁	10.21	宮川 彦達
和12	登	10.25	藤井 佳清
栄	厚	10.30	青柳 之俊
石瀬	洋一	11.4	渡邉

おめでた (結婚)

結婚した人	前住所	前住所
(山下) 稔	栄	和 2
伊藤 和子	和 2	
鶴巻 進	和 11	和 11
(徳吉) 和美	巻町	
鈴木 豊	橋本	橋本
(星野) 純子	巻町	
水沢 博	間 6	間 6
(石井) 蘭子	吉田町	

おくやみ (死亡)

氏名	年齢	死亡月日	世帯主	住所
齋藤 幸市	(72)	10.24	カツ	石瀬
鷲澤 太一	(69)	10.28	一二	西船越
柏木 トヨ	(80)	11.11	一	間1
松本 ミセ	(80)	11.16	順	新谷

(敬称略)